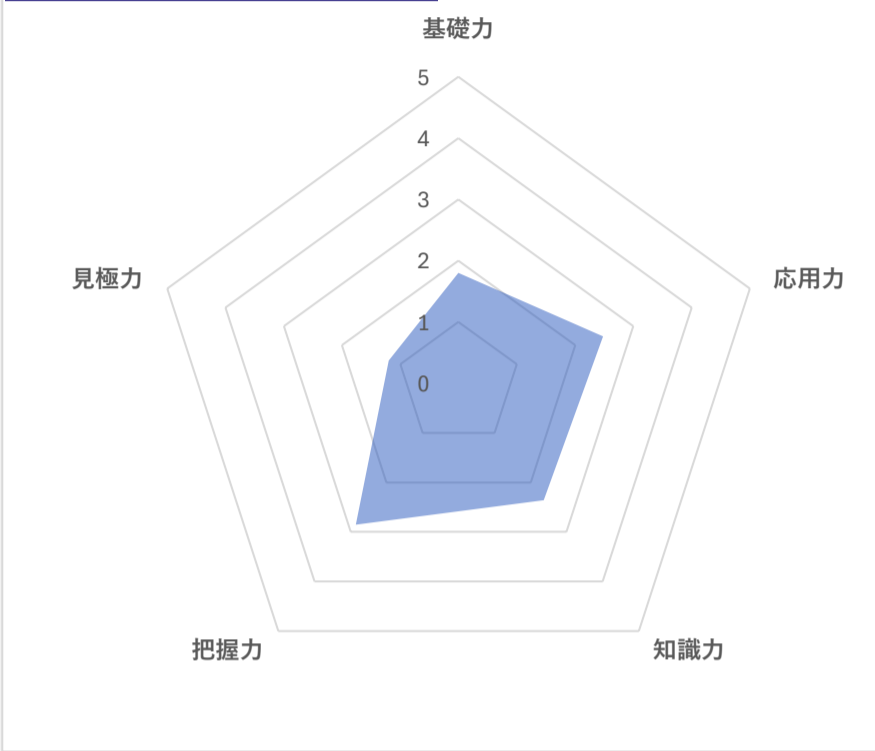


総合分析

試験区分	一般 (前期)
------	---------

制限時間	75分 (理科 2科150分)	大問数	全 5 問
------	-----------------	-----	-------

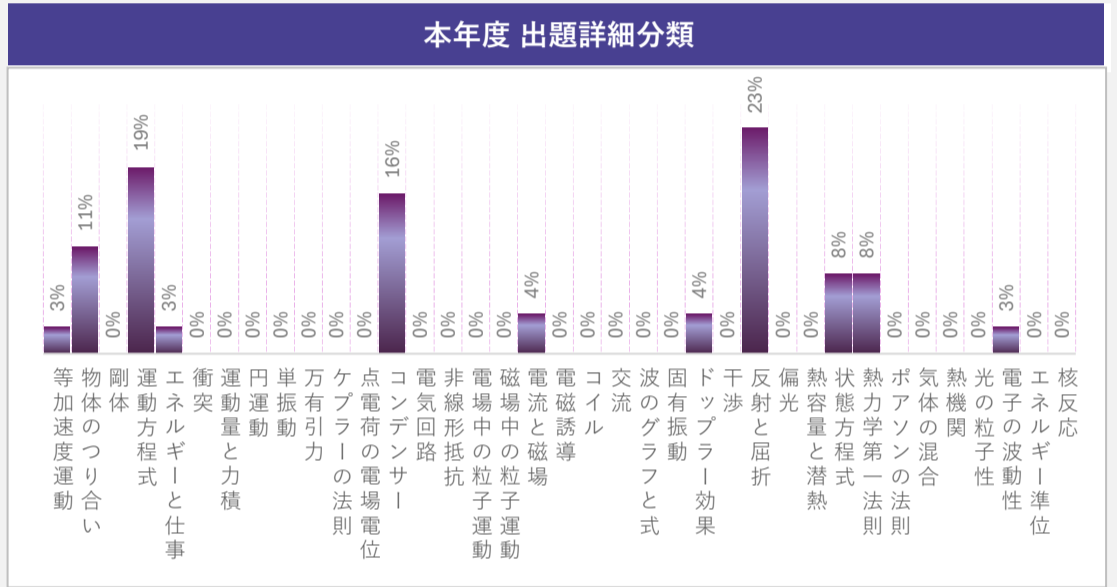
合格に要する能力 (5段階)



出題分野	
力学	35%
電磁気学	20%
波動	27%
熱力学	16%
原子物理	3%

本年度出題テーマ一覧	
第 1 問	小問集合
第 2 問	滑車による物体の運動
第 3 問	コンデンサーの極板間の電場と電位
第 4 問	レンズによる像
第 5 問	気体の状態変化

本年度 解答形式		
穴埋め記述	45%	答えのみ記述
		39%
		選択肢...



合格に要する能力 (5段階)		
基礎力	1.6	原理についての理解
応用力	2.3	演習経験による慣れ
知識力	2.2	用語を正確に覚えているか
把握力	2.7	臨機応変に状況を把握する力
見極力	1.0	解きやすい問題を選択する力

特殊問題の有無	近似計算なし	グラフあり
正誤問題なし	理由記述あり	数値計算あり

特記事項 SI単位に関する問題、会話文、グラフ描画、説明問題が出題された

総合評価			
難度	1.9	最難を 5 とする問題自体の難度	やや易しい
分量	65分	完答に要する時間 (制限時間は75分)	標準
一次合格に必要な正答率 (予想)			75%
高い正答率を要する			

入試の特徴と対策
 ▶ 概ね法則の運用に関する応用的な出題である。物理計算への慣れが必要となる。

入試から見る 大学が求める学生像
 私立医学部の中でもかなり易しく、分量も少ない方である。しかし易しいからと言って解きやすいわけでもない。あまり他の大学で問われないような部分が独特の言い回しで問われるため、よく読まないとなつづくこともある。相手の言うことをしっかりと聞き、落ち着いて的確な処置ができるような堅実な学生を求めているのだろう。おそらく臨床医の資質としてこれを問うているのだろう。